

中学生折り鶴平和使節団 8/3~5 

## 長崎で戦争の悲惨さを実感



1

被爆地で、戦争の恐ろしさや平和の尊さを学ぶ、中学生折り鶴平和使節団が長崎を訪問しました。参加した10人は、現地の学生による平和講座や被爆を体験した丸田さんまるたの講話を聴いたり、平和公園や原爆資料館、被爆した建物などを見学したりしました。参加者の一人は「丸田さんの話を聴いて、悲惨な情景に体が震えた。原爆の恐ろしさを多くの人に知ってもらいたい」と話していました。

1 平和公園内を見学 2 原爆資料館の展示に見入る 3 千羽鶴を献納 4 被爆体験者に当時の状況を聴く



2



3

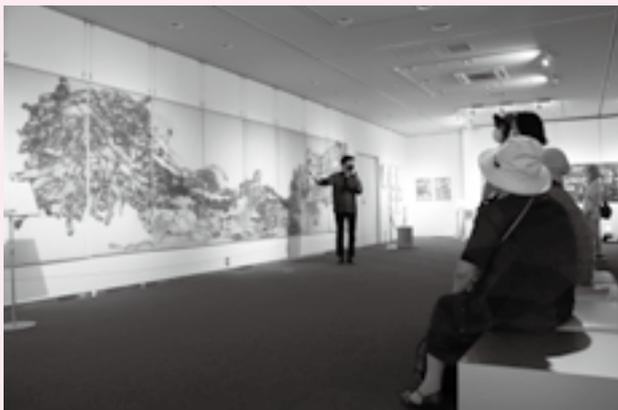


4

「原爆の図」展ギャラリートーク 8/12 

## 原爆の被害を忘れないために

スカイタウンギャラリーで開催された「原爆の図」展に関連したギャラリートークが同会場で行われました。今回作品の解説を行ったのは、原爆の図 丸木美術館の学芸員である岡村幸宣さんおかむらゆきのり。原爆被害の悲惨さと平和への願いを忘れないため、丸木位里まるきいり・俊夫妻が作品に込めた思いについて語りました。参加者は迫力ある作品を鑑賞するとともに、説明に熱心に耳を傾けていました。



作品を前に解説

親子木工ひろば 7/29 

## 親子で力を合わせて

親子で物作りを体験してもらおうと「親子木工ひろば」が子ども館で開催されました。用意された木材を使って自由に工作するこの催し。参加した親子は完成後の作品をイメージして、のこぎりで木材を切ったり、金づちでくぎを打ったりしました。上手にくぎを打てず苦戦する様子も見られましたが、親子で協力しておもちゃや本棚などのすてきな作品を完成させました。



協力し合って木材を切る

## 成田市とつながろう

市では、イベント情報や緊急情報など、皆さんの役に立つさまざまな情報をSNSで配信しています。



成田市LINE



成田市広報課Facebook



成田市広報課Instagram

#なりたさんぼ

拓本教室 7/31

# 古人の生活に思いをはせて



1



2



3



4

文化財を身近に感じてもらおうと「拓本教室」が滑河文化財保存展示施設で開催されました。集まった子どもたちは、専用の墨を使って土器に刻まれた模様を紙に写し取る拓本に挑戦。市内で発掘された土器に紙をぴったりと張り付けた後、タンポという道具で墨を優しくたたき付けて、土器の模様を丁寧に写し取りました。参加者は「本物の土器に触れるなんて貴重な体験」と笑顔で話していました。

1 上手に写し取れたかな 2 講師から直接教わる 3 丁寧に紙を張り付ける 4 完成した拓本はしおりに

木村敬一選手講演会 8/4

## パラリンピアンが考える共生社会とは

成田市共生社会ウィークプレイベントとして「東京2020大会パラ水泳金メダリスト木村敬一選手講演会」がスカイタウンホールで行われました。全盲のスイマーがパラリンピックで金メダルを獲得するまでの心境や共生社会に対する考え方などについて講演。質疑応答では、障がい者の就労支援を行う人やパラ水泳に取り組む人など、さまざまな立場からの質問に対し、体験談を交えた丁寧な回答があり、会場は大きな拍手に包まれました。



自身の経験を基に説明

ご当地キャラ大集合!ご当地PR合戦 7/31

## ゆるく楽しく魅力をアピール

近隣地域に住む人たちに各市の魅力をもっと知ってもらおうと「ご当地キャラ大集合!ご当地PR合戦」がイオンモール成田で開催されました。特設ステージに集まったのは、うなりくん、印西市のいんざい君、銚子市のちょーぴーのほか、香取市の応援に駆け付けたチーバくんの4体のキャラクター。クイズやダンスなどを通してそれぞれの良さをアピールし、訪れた人たちを楽しませていました。



うなりくんの自己紹介からスタート

※マークが付いたイベントは、Facebookでも配信しています。